



本市では佐世保市主催の成人式以外にも各地域でさまざまな成人式が開催されており、ことしは「宇久地区成人式典」（1月2日、宇久地区生涯学習推進会主催）と「江迎の子どもの成人を祝う会」（1月3日、同会実行委員会・江迎地区生涯学習推進会主催）に出席させていただきました。

この2つの成人式は合併前には町主催で開催されていましたが、合併後に佐世保市主催の式典とは形式や日時を変えて、新成人者がより集まりやすい3日間のうちに地元で開催されることになったとのことでした。宇久の式典に参加した新成人は、対象者40人のうち35人。宇久に実家があるほぼ全員が参加したそうです。江迎地区においても83人中63人が参加され、両地区とも高い参加率でした。

この2つの成人式に共通していたのは、新成人の家族や中学校時代の恩師、地域の団体の役員さんなど、新成人に関わりの深い人が数多く参加されてい

たこと。そして、そうした人たちの前で、新成人の皆さんが、近況報告や新成人者としての思い、決意などを一人一人発表されたことでした。そのスピーチはとても感動的で、出席した人は誰もが新成人の皆さんを頼もしく感じたのではないかと思います。

新成人者が主役となり、その一人一人が自分の存在感を十分に発揮できる成人式、そして、地域の人々や恩師、家族にとっては、これまで見守ってきた子どもたちのしっかりした考えや抱負を聞くことができ、子どもたちを間近で祝福できる成人式。宇久と江迎地区で開催された成人式はそんなことが感じられる式典であり、人生の節目に行う行事として、本当に意義ある素晴らしい式典でした。この2つの成人式に、成人式の真の在り方や原点を見たように感じました。

佐世保市長 朝長 則男

歴史散歩 第五五九回

二月初午と稲荷神・須佐町

撮影・文 ● 筒井隆義

二月初午の日は、京都伏見稲荷が鎮座された縁日。各地に分祀されたお稲荷さんは福詣ででにぎわいます。お隣り佐賀の祐徳稲荷が有名で、佐賀県人の移住者が多い佐世保市は、牛津出身の田中丸家が、デパート屋上に商売繁盛を念じて祀っています。

須佐町の須佐神社境内にある正一位稲荷大明神には、石に珍しい稲荷神の神像を薄肉彫りしたものがありません。「宇迦之御魂大神」で、天秤棒で稲束を担い、神の使いの狐に乗る翁神の姿です。

「お稲荷さん」と愛称される稲荷神信仰は、遠く和銅四（七二二）年にさかのぼります。この年の二月初めの壬午（みずのえうま）の日、元明天皇の勅命で秦氏人が伊奈利山の三峰に三柱の神を祀ったのが始まりとされています。伊奈利山は京都伏見区深草で、秦氏は「深草の長者」と呼ばれていました。

この年五穀が大いに稔り、絹を作る養蚕が栄え、百姓が豊かな福を授かったので稲荷信仰が広まりました。天長四（八二七）年には淳和天皇の病も伏見稲荷の神託を得て回復、従五位下の神階が授けられ、その後累進して正一位になりました。

佐世保市の稲荷町は、日宇村時代から祀られている古社にちなみ、佐世保との合併後に町名になりました。明治維新で小さな神社は統合され、太平洋戦争後は国家神道が無くなって宗教法人化し、ますます神社の運営は困難になっています。

でも、わたしたちの生活には、正月に初詣でに出掛け、恵比寿さんに福を願い、厄年のおはらいを受け、還暦、喜寿を祝い、夏は茅の輪をくぐって疫病を封じ、秋は豊作の祭りと、年間を通じて、もろもろの神様を祭る民俗行事が残っています。



シリーズ 佐世保の食 10 九十九島かき



西海国立公園九十九島の海は、県下有数のカキの産地です。リアス式海岸で干満の差が大きく、島々から流れ込むたっぷりの養分ときれいな海水が入り混じり、良質のカキを育てます。九十九島かきはひと口サイズで食べやすく、引き締まった身と濃厚な味が特徴。旬を迎えた、ぷりぷりのカキをぜひ味わってください。

※2月の土・日曜、祝日には西海パールシーリゾートで恒例の「九十九島かき食うカキ祭り」を開催します。たくさんのご来場をお待ちしています（14ページ参照）。

問 企業立地・観光物産振興局 ☎24-1111

皆様のご協力に厚くお礼を申し上げます
東日本大震災の被災地支援

義援金累計 1億5326万1458円
(12月31日現在)

(12月受付分、敬称略、順不同)

- ▷ 潜龍酒造(株)売店(江迎町長坂)▷ まゆの会(江迎町乱橋)▷ イトウタカコ▷ 蛭川誠司(山祇町)▷ 白南風小学校校友会(山祇町)▷ メンドコロアキラ▷ サイツヒロミ▷ プルズキッチンオオムラ▷ 江上小学校児童(指方町)▷ 川村フサ子(吉井町立石)▷ アルカスSASEBO(三浦町)▷ 陽富実会会員一同(桜木町)▷ ロウジンホケンシセツサクラ▷ 須佐世保エネルギーセンター(干尽町)

本市募集分の東日本大震災義援金は、3月31日をもって受け付けを終了します。皆さんから寄せられました温かい善意に厚くお礼を申し上げますとともに、引き続きご支援をお願いします。

問 市民協働推進室 ☎24-1111



1月に放送した「くっけん広場に行ってみよう！」の収録の様子。市ホームページで閲覧できます。

2月の市政広報テレビ番組「キラっ都させぼ」
市民のアイデアから生まれた特産品
「佐世保開港ロールケーキ」新発売！

本市では佐世保を代表するような特産品の開発に取り組んでいます。番組では、市民のアイデアと地元菓子店の協力により商品化に成功し、昨年12月から販売を始めた「佐世保開港ロールケーキ」を、朝長市長が紹介します。

放送予定日	放送時間(放送局)
2月 4日(土)	9:25(NBC)、11:40(KTN)
2月11日(土)	9:25(NIB)、11:40(NCC)
2月18日(土)	9:25(NBC)、11:40(KTN)
2月25日(土)	9:25(NIB)、11:40(NCC)
毎週日曜	18:55(テレビ佐世保)

プレゼント応募方法 はがきがEメールに、①番組で出題したクイズの答え②ご覧になった放送局③番組の感想④住所⑤氏名⑥年齢⑦電話番号を書いて広報係(あて先は20ページ下部)へ。2月29日(水)必着 ※応募は1人1通。正解者の中から抽選し、発表は放送(3月中旬)をもって代えさせていただきます。 【12月放送の答え=B 応募数=69通】

2月放送のクイズ当選者プレゼント

「佐世保開港ロールケーキ」1個を5人に



コーヒーを使ったスポンジで、キャラメルクリームと佐世保産の米粉を使ったライスプリンを包み込んでいます。ライスプリンはかわいいハート型で、見た目にも楽しめます。

問 企業立地・観光物産振興局 ☎24-1111